

## 《 耕畜連携プロジェクト 》

市町村	山辺町	対象地域	山辺町全域	分野	畜産（酪農）
実施主体名	山辺町酪農組合	代表者氏名	代表 長岡 久仁男	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	山辺町大蔵921
実施主体構成	3名				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	82,517千円（12,032千円）				
	独自の目標項目	自給粗飼料拡大 稲ワラ収集20ha 温室効果ガス削減 1.0t削減（稲ワラ収集20ha分）				
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）
	産出額	70,485千円	74,037千円	82,249千円	82,517千円	82,517千円
	独自の目標項目	自給粗飼料拡大 温室効果ガス削減	牧草20ha・稲ワラ10ha 0.5t(10ha)	牧草20ha・稲ワラ12ha 0.6t(12ha)	牧草20ha・稲ワラ20ha 1.0(20ha)	牧草20ha・稲ワラ20ha 1.0t(20ha)
プロジェクト概要	◎実施方針	即戦力たる初妊牛を導入し搾乳量増加ならびに2産目から雌雄判別精液を活用し後継牛の増頭を図る。また、耕畜連携の充実化により稲ワラ収集を拡大し飼料自給率アップを図る。				
	○産出額の増大	生乳10.8百万・子牛1.2百万・合計12.0百万円				
	○雇用の創出	経営安定化による後継者の就農。作業人員（3名/日）・作業効率（2ha/日）延べ作業人員30名 H25:年間雇用創出効果（増加分） 30人日/年				
	○創意工夫	耕畜連携による相乗効果・飼料自給率の上昇・水田由来温室効果ガスの削減・稲ワラ水田へ堆肥還元				
	○実現性	現状打開意欲が畜産農家・耕種農家とも強く、当事業を導火線とするが、当面、長井市・白鷹町のコントラ組織に作業委託する。				
	○地域への波及効果	経済的効果の外、未利用資源活用（稲ワラ）、循環農業の実現に寄与。				
	○その他					

計事業		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成22年度）
	事業内容	初妊牛12頭の導入(空牛床の解消)	初妊牛4頭の導入(空牛床の解消)